

取組み実績の点検について

湖西市総合交通戦略協議会

平成28年3月

静岡県湖西市

中心拠点(鷺津駅周辺)【主な取り組み実績(H28.2末現在)】

21

駅前ロータリーのイルミネーション(H27.12撮影)



写真撮影：都市計課
F.駅前広場を活用したイベントの開催

22



F.鷺津駅前広場モニュメント設置
由来の紹介(H27.12撮影)

写真撮影：都市計課

鷺津駅前広場を起点として市民により整備されている北原白秋先生の散歩道(鷺津節の紹介など10ヶ所程度整備)

【駅勢圏】
徒歩圏: 650m = 徒歩による駅までの平均所要時間9.6分 × 平均歩行速度4km/h(設定)より算定
自転車圏: 2km = 自転車による駅までの平均所要時間13.2分 × 平均走行速度9m/h(設定)より算定
(※第4回西遠都市圏パーソントリップ調査より)

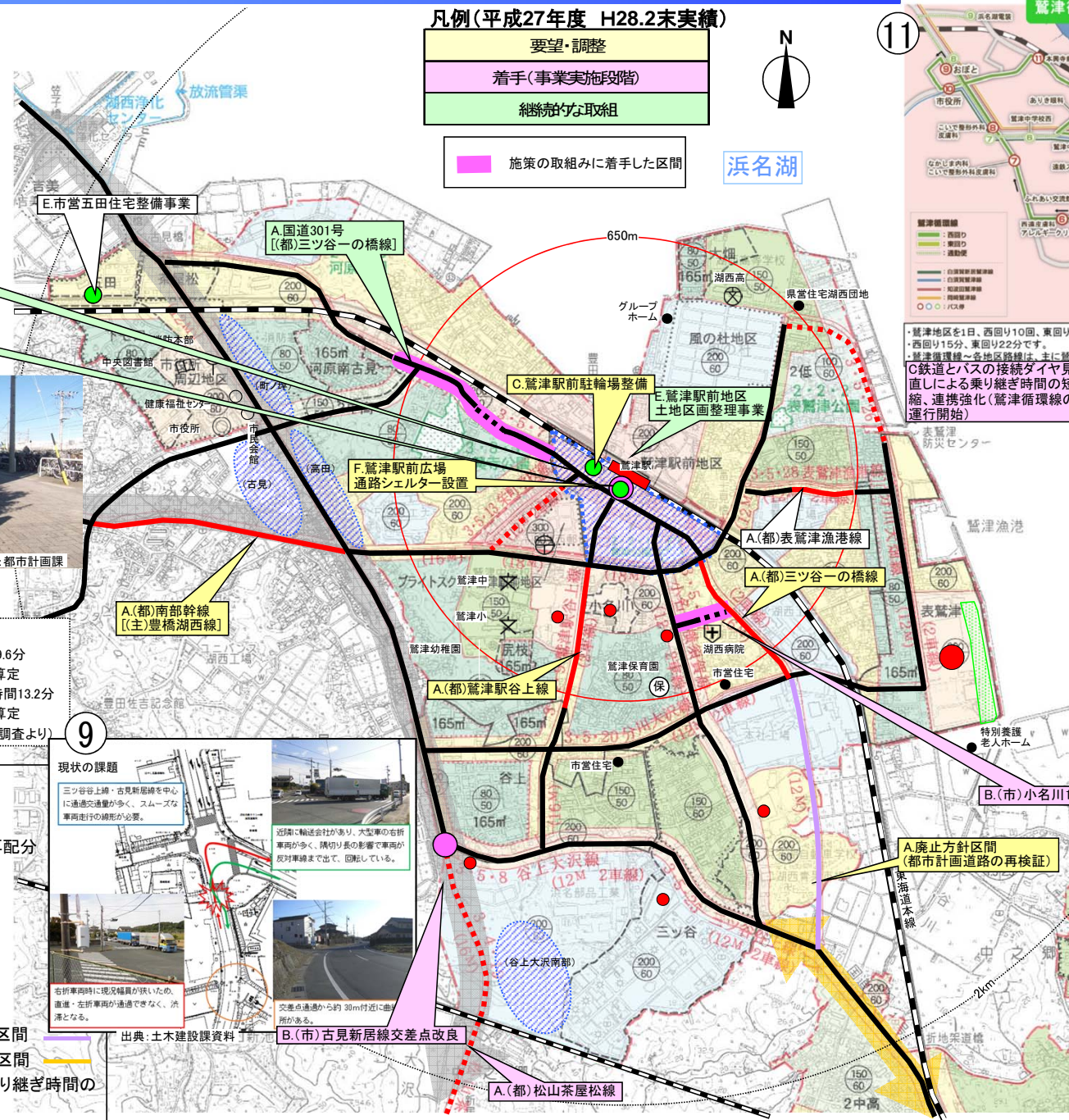
《拠点全体について》

【ハード施策】

- B.市道整備、交通安全施設整備
- B.歩行者・自転車空間整備、道路空間の再配分
- C.駅・バス停など公共交通機関の高質化
- D.歩きやすい歩道整備(段差解消等)
- E.基盤未整備区域の面整備誘導
- E.民間保育所の誘致・公立保育所の改築
- F.鷺津駅周辺への商業施設誘導策

【ソフト施策】

- A.都市計画道路の再検証による廃止方針区間 変更方針区間
- C.鉄道とバスの接続ダイヤ見直しによる乗り継ぎ時間の短縮、連携強化
- E.開発指導(適正な土地利用誘導)
- F.駅前広場を活用したイベントなどの開催



凡例(平成27年度 H28.2末実績)

要望・調整
着手(事業実施段階)
継続的な取組
施策の取組みに着手した区間



11



鷺津地区を1日、西回り10回、東回りを12回循環します。
西回り15分、東回り22分です。
鷺津循環線～各地区路線は、主に鷺津駅で接続します。
C鉄道とバスの接続ダイヤ見直しによる乗り継ぎ時間の短縮、連携強化(鷺津循環線の運行開始)



出典：市民協働課資料

9



施工前(H26.4撮影)



西側区間完成(H27.12撮影)

段差のない歩道が設置された湖西病院前の道路
写真提供：土木建設課

..... 事業中
—●— 短・中期(継続含む)※
..... 長期
— 整備済(概成を含む)

■ 土地区画整理事業
■ 同(計画・誘導)
● その他施設整備
● 主な商業施設
● 市営住宅・主要福祉施設

⇄ 骨格道路(都市間ネットワーク)
⇄ 拠点間ネットワーク

※戦略目標年次(～H32)までの着手を目指すもの

2

中心拠点(鷺津駅周辺)

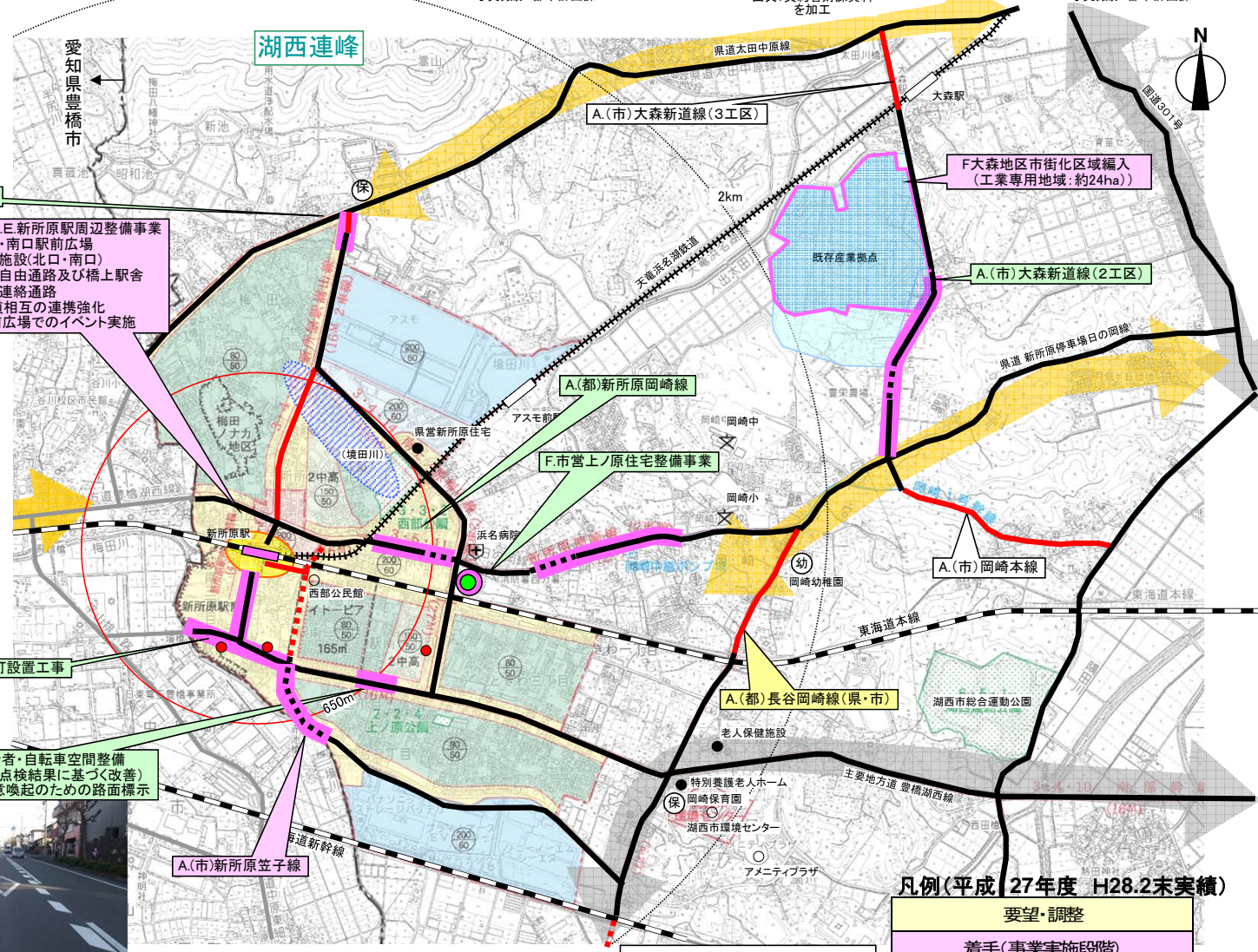
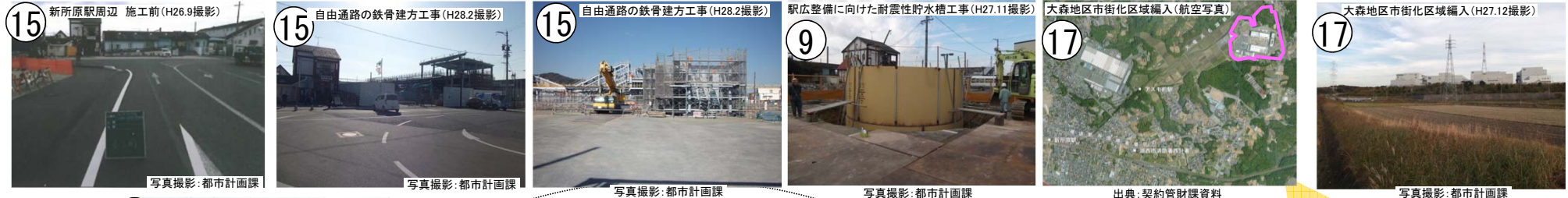
No	種別 (注1)	基本目標との関係	単独における 取り組み項目・施策名	単独における 実施予定	平成25年度 実績		平成26年度 実績		平成27年度(中間点検)		平成28年度 予定		実施関係 機関
					実績	点検 結果	実績	点検 結果	実績	点検 結果	取組み予定		
1	A	II(利便性)	国道301号	事業実施	工事施工	◎	工事施工	◎	工事施工・完了予定	◎		県	
2		II(利便性)	(都)三ツ谷一の橋線	(H26年度～)	-	-	H28年度着手に向けた調整	○	H28年度着手に向けた調整	○	事業着手・用地測量	市	
3		II(利便性)	(都)表鷺津流港線	(H30年度～)	-	-	-	-	-	-	-	市	
4		II(利便性)	(都)鷺津駅谷上線	(H26年度～)	-	-	H28年度着手に向けた調整	○	H28年度着手に向けた調整	○	事業着手・路線測量	市	
5		II(利便性)	(都)松山茶屋松線	都市計画の変更	都市計画道路の見直し方針策定	◎	都市計画変更に向けた関係者協議・地元調整	○	総合計画(実施計画)に位置づけ	◎	都市計画の変更手続き	県・市	
6		II(利便性)	(都)南高降線	要望・調整・着手	事業化に向けた要望・調整	○	事業化に向けた要望・調整	○	事業化に向けた要望・調整	○	事業化に向けた要望・調整	県・市	
7		II(利便性)	都市計画道路の再検証	ガイドライン策定	都市計画道路の必要性再検証 ガイドライン及び見直し方針策定	◎	都市計画変更に向けた関係者協議・地元調整	○	都市計画変更に向けた関係者協議・地元調整	○	再検証に基づく都市計画の変更手続き	市	
8		II(利便性)	その他未整備都市計画道路	(長期)	-	-	-	-	-	-	-	県・市	
9	B	I(安全・安心)	その他歩行者・自転車空間整備、交通安全施設整備	継続実施	市道小名川112号線 用地買収	◎	市道小名川112号線 用地買収・工事	◎	市道小名川112号線完成予定 市道古見新居線交差点改良工事	◎	(当地区では該当案件無し)	市	
10		I(安全・安心)	その他歩行者・自転車空間整備、道路空間の再配分、ゾーン30の設定等	継続実施	(当地区では該当案件無し)	△	通学路合同点検の実施	◎	通学路合同点検結果に基づく改善	◎	通学路合同点検結果に基づく改善	道路管理者 警察	
11	C	I(安全・安心)	鉄道とバスの接続ダイヤ見直しによる乗り継ぎ時間の短縮・連携強化	継続実施	コーちゃんバス(コミュニティバス)運行開始	◎	コーちゃんバス 経路及びダイヤ見直し	◎	コーちゃんバス 鷺津循環線運行開始	◎	コーちゃんバス 公共交通会議による検討	市 交通事業者	
12		I(安全・安心)	駅・バス停など公共交通機関の高質化(通路シェルター、サイン・案内板等(多言語化)等の整備)	継続実施	鷺津駅前広場通路シェルター設置(H26.3完成)	◎	鷺津駅前通路シェルター 駅前管理協定(区画)の更新	○	鷺津駅前通路シェルター 駅前部分の設置に向けた調整	○	鷺津駅前通路シェルター 駅前部分の設置に向けた調整	市 交通事業者	
13		II(利便性)	鷺津駅前広場整備	調整	事業化に向けた調整	○	事業化に向けた調整	○	事業化に向けた調整	○	将来の管理運営手法の検討	市	
14	D	I(安全・安心)	歩きやすい歩道整備(段差解消等)	継続実施	国道301号(再掲)	◎	国道301号(再掲) 市道小名川112号線(再掲)	◎	国道301号(再掲) 市道小名川112号線(再掲) 定期的な道路・ローラー及び 地元要望への対応による 歩行者環境の改善	◎	定期的な道路・ローラー及び 地元要望への対応による 歩行者環境の改善	道路管理者	
15		I(安全・安心)	鷺津駅前地区土地区画整理事業	事業実施	清算金徴収事務	◎	清算金徴収事務	◎	清算金徴収事務	◎	清算金徴収事務	市	
16	E	I(安全・安心)	基盤未整備区域の面整備誘導(啓発及び誘導支援)	継続実施	市街地における面整備 実現に向けた啓発・誘導	◎	市街地における面整備 実現に向けた啓発・誘導	◎	市街地における面整備 実現に向けた啓発・誘導	◎	市街地における面整備 実現に向けた啓発・誘導	市	
17		I(安全・安心)	開発指針(適正な土地利用誘導)	継続実施	窓口による開発指針	◎	窓口による開発指針	◎	窓口による開発指針	◎	窓口による開発指針	市 民間事業者	
18		III(活力)	市営住宅整備事業(五田住宅)	(H30年度～)	-	-	-	-	-	-	-	市	
19	F	III(活力)	保育所等建設事業(民間保育所の誘致・公立保育所の改築)	継続実施	認定こども園化へ向けた検討	◎	認定こども園化へ向けた検討	◎	認定こども園化へ向けた検討	◎	認定こども園化へ向けた検討	市	
20		III(活力)	鷺津駅前周辺への商業施設誘導策(湖西市・鷺津駅前地区商店街イベント活動活性化事業)	継続実施	商店街組合のイベント活動への補助	◎	商店街組合のイベント活動への補助	◎	商店街組合のイベント活動への補助	◎	商店街組合のイベント活動への補助	商業者・市	
21	F	III(活力)	駅前広場を活用したイベントなどの開催(湖西おいでん祭など)	継続実施	湖西おいでん祭の開催	◎	湖西おいでん祭の開催	◎	湖西おいでん祭の開催 キラキラフェスタinこさい (駅前ロータリーイルミネーション)	◎	湖西おいでん祭の開催	市民・市	
22		III(活力)	鷺津駅前広場モニュメント設置	調整・着手	豊田佐吉翁生誕150年記念事業としてPR看板設置	◎	継続実施	◎	継続実施 北原千秋散歩道の整備	◎	継続実施	市	

(注1)「種別」 A: まちの骨格を形成する道路体系の確立 B: 徒歩圏内の移動手段の確保
 C: 拠点駅における乗り継ぎ利便性・快適性の向上 D: 駅周辺のVRリアフリー化
 E: 安全で利便性の高い都市基盤の整備(中心拠点の土地利用を促進)
 F: 回遊性を生み出す施設誘導・公園等の整備・イベント等の開催

(注2)「朱書き」の施策は、図中に表示あり。

凡例 (点検結果)	(着色)
◎: 概ね計画通り実施	要望・調整
○: 一部実施(要望・調整を含む)	着手(事業実施段階)
△: 取組み検討中、まだ未実施	継続的な取組

生活拠点(新所原駅周辺)【主な取り組み実績(H28.2末現在)】



《拠点全体について》

【ハード施策】

- B.市道整備、交通安全施設整備
- B.歩行者・自転車空間整備、道路空間の再配分
- C.駅・バス停など公共交通機関の高質化
- D.歩きやすい歩道整備(段差解消等)
- F.基盤未整備区域の面整備誘導

【ソフト施策】

- C.鉄道とバスの接続ダイヤ見直しによる乗り継ぎ時間の短縮、連携強化
- F.開発指導、まちづくり誘導(まちづくり研究会)

- B,C,D,E新所原駅周辺整備事業
- ・北口・南口駅前広場
 - ・駐輪施設(北口・南口)
 - ・南北自由通路及び橋上駅舎
 - ・南口連絡通路
 - ・C.鉄道相互の連携強化
 - ・E.駅前広場でのイベント実施

【駅勢圏】

徒歩圏: 650m = 徒歩による駅までの平均所要時間9.6分
 × 平均歩行速度4km/h(設定)より算定

自転車圏: 2km = 自転車による駅までの平均所要時間13.2分
 × 平均走行速度9m/h(設定)より算定
 (※第4回西遠都市圏パーソントリップ調査より)

.....	事業中
——	短・中期(継続含む)
.....	長期
——	整備済(概成を含む)
○	駅周辺整備事業
■	土地区画整理事業(計画・誘導)
●	その他施設整備
●	主な商業施設
●	公営住宅・主要福祉施設
→	骨格道路(都市間ネットワーク)
→	拠点間ネットワーク



凡例(平成27年度 H28.2末実績)

○	要望・調整
■	着手(事業実施段階)
□	継続的な取組

■ 施策の取組みに着手した区間

生活拠点(新所原駅周辺)

No	種別 (注1)	基本目標との関係	単独でおこな る取り組み項目・施策名	単独でおこな る実施予定	平成25年度 実績		平成26年度 実績		平成27年度(中間点検)		平成28年度 予定		実施関係 機関
					実績	点検 結果	実績	点検 結果	取組み予定	点検 結果	取組み予定		
1	A	II(利便性)	(都)新所原駅高山線	事業実施	用地先行買収	◎	用地買戻し・工事	◎	用地交渉	◎	用地交渉	市	
2		II(利便性)	(都)新所原岡崎線	事業実施	工事施工	◎	工事施工	◎	用地交渉・工事施工	◎	工事施工	県	
3		II(利便性)	(市)新所原笠子線	(H26年度～)	-	-	事業化に向けた調整	○	事業着手(測量)	◎	詳細設計	市	
4		II(利便性)	(市)大森新道線	事業実施	工事施工	◎	工事施工	◎	工事施工	◎	工事施工・事業完了予定	市	
5		II(利便性)	(市)岡崎本線	(H26年度～)	-	-	事業化に向けた調整	○	事業化に向けた調整	○	事業化に向けた調整	市	
6		II(利便性)	(都)長谷岡崎線	要望・調整・着手	事業化に向けた調整	○	事業化に向けた調整	○	事業化に向けた調整	○	事業化に向けた調整	県・市	
7	B	I (安全・安心)	市道整備(新所原駅南北自由通路など) 交通安全施設整備	継続実施	新所原駅南北自由通路 詳細設計実施	◎	仮設駅舎完成・供用開始	◎	本体工事着手	◎	本体工事完了・供用開始	道路管理者	
8		I (安全・安心)	その他歩行者・自転車空間整備、道路空間の再配 分、ゾーン30の設定等	継続実施	(当地区では該当案件無し)	△	通学路合同点検の実施	◎	通学路合同点検結果に基づく改善 (注意喚起路面標示など)	◎	通学路合同点検結果に基づく改善	道路管理者 警察	
9	C	II(利便性)	北口・南口駅前広場 (新所原駅周辺整備事業)	事業実施	新所原駅北口駅前広場 用地買収	◎	新所原駅北口駅前広場 暫定整備工事	◎	北口:耐震性排水槽移設工事 南口:街路灯設置工事	◎	南口駅前広場暫定整備 南口連絡通路の整備 (南口利用開始)	市	
10		II(利便性)	北口・南口馬場跡地 (新所原駅周辺整備事業)	調整	新所原駅北側馬場跡地 用地買収	◎	馬場跡地整備に向けた調整	◎	馬場跡地整備に向けた調整	◎	馬場跡地整備・供用開始	市	
11		II(利便性)	鉄道とバスの接続ダイヤ見直しによる 乗り継ぎ時間の短縮、連携強化	継続実施	コーちゃんバス(コミュニティバス) 運行開始	◎	コーちゃんバス 経路及びダイヤ見直し	◎	コーちゃんバス 公共交通会議による検討	◎	コーちゃんバス 公共交通会議による検討	市 交通事業者	
12	D	II(利便性)	鉄道相互のサービス向上に向けた連携強化	継続実施	新所原駅周辺整備事業に伴う 天竜浜名湖線新所原駅舎の改築に向けた調整	○	天竜浜名湖線新所原駅 JIR乗換エスロープ設置工事	◎	新所原駅周辺整備事業に伴う 天竜浜名湖線新所原駅舎の改築に向けた 詳細設計	◎	新所原駅周辺整備事業に伴う 天竜浜名湖線新所原駅舎の改築工 事完成	市 交通事業者	
13		II(利便性)	駅・バス停など公共交通機関の高質化 (バリアフリー化、多目的トイレ、案内板等多言語 化、防犯施設等)	継続実施	待合ベンチ設置	◎	新所原駅南北自由通路の 案内板及び防犯カメラの設置検討	◎	新所原駅南北自由通路の 高質化内容の検討	◎	新所原駅及び南北自由通路の 高質化(バリアフリー化、多目的トイレ、 案内板等多言語化、防犯施設等)	市 交通事業者	
14	D	I (安全・安心)	歩きやすい歩道整備(段差解消等)	継続実施	新所原岡崎線(再掲) 大森新道線(再掲)	◎	新所原岡崎線(再掲) 大森新道線(再掲)	◎	新所原岡崎線(再掲) 大森新道線(再掲) 定期的な道路・パトロール及び 地元要望への対応による 歩行者環境の改善	◎	新所原岡崎線(再掲) 大森新道線(再掲) 定期的な道路・パトロール及び 地元要望への対応による 歩行者環境の改善	道路管理者	
15		I (安全・安心)	南北自由通路及び橋上駅舎 (新所原駅周辺整備事業)	事業実施	新所原駅南北自由通路 詳細設計実施	◎	仮設駅舎完成・供用開始	◎	本体工事着手	◎	本体工事完了・供用開始	市	
15	E	II(利便性)	【再掲】南北自由通路及び橋上駅舎 (新所原駅周辺整備事業)	事業実施	新所原駅南北自由通路 詳細設計実施	◎	仮設駅舎完成・供用開始	◎	本体工事着手	◎	本体工事完了・供用開始	市	
16		III(活力)	駅前広場を活用したイベントなどの開催 (新所原夕涼みフェスティバルなど)	継続実施	(駅広工事中のため、未実施)	△	(駅広工事中のため、未実施)	△	(駅広工事中のため、未実施)	△	(駅広工事中のため、未実施)	市民・市	
17	F	I (安全・安心)	基礎未整備区域の面整備誘導、 生活道路整備(啓発及び誘導支援)	継続実施	市街地における面整備 実現に向けた啓発・誘導	◎	市街地における面整備 実現に向けた啓発・誘導	◎	大森地区市街化区域編入 (工業専用地域:約24ha)	◎	市街地における面整備 実現に向けた啓発・誘導	市	
18		III(活力)	市営住宅整備事業(上原住宅)	工事施工	工事施工	◎	工事完了・入居開始	◎	管理運営	◎	管理運営	市	
19		I (安全・安心)	開発指導(適正な土地利用誘導)	継続実施	窓口による開発指導	◎	窓口による開発指導	◎	窓口による開発指導	◎	窓口による開発指導	市 民間事業者	
20		III(活力)	まちづくり誘導(まちづくり研究会)	継続実施	交通計画書の作成	◎	袋井駅自由通路完成イベント視察	◎	新所原駅自由通路完成イベント検討	◎	新所原駅自由通路完成イベント実施	市民・市	

(注1)「種別」 A: まちの骨格を形成する道路体系の確立 B: 徒歩圏内の移動手段の確保 C: 拠点駅における乗り継ぎ利便性・快適性の向上 D: 駅及び周辺周辺のバリアフリー化 E: 歩行者の、南北自由通路の確保 F: 安全で利便性の高い都市基盤の整備(拠点としての土地利用を促進)

(注2)「朱書き」の施策は、図中に表示あり。

凡例
(点検結果)

◎: 概ね計画通りに実施
○: 一部実施(要望・調整を含む)
△: 取組み検討中、または未実施

(着色)

要望・調整
着手(事業実施段階)
継続的な取組
【再掲】

生活拠点(新居町駅周辺)【主な取り組み実績(H28.2末現在)】



《拠点全体について》

【ハード施策】

- A.市道整備、交通安全施設整備
- B.歩行者・自転車空間整備、道路空間の再配分
- B.歴史と自然をつなぐ歩行者ネットワークの形成
- B.基盤未整備区域の面整備誘導
- C.駅・バス停など公共交通機関の高質化
- D.歩きやすい歩道整備(段差解消等)
- E.風致地区の保全

【ソフト施策】

- A.都市計画道路の再検証による廃止方針区間
- 〃 変更方針区間
- C.鉄道とバスの接続ダイヤ見直しによる乗り継ぎ時間の短縮、連携強化
- E.特別史跡新居関所を中心とした地域・商業活性化の仕組みづくり
- E.まちあるき観光プログラム等

- 事業中
- 短・中期(継続含む)
- 長期
- 整備済(概成を含む)
- 歩行者系道路整備
- 関所地区景観計画
- 景観資源の保全活用(風致地区)
- 土地区画整理事業
- 駅前広場の再整備
- ソーン30の設定
- その他施設整備
- 主な商業施設
- 公営住宅・主要福祉施設
- ⇄ 骨格道路(都市間ネットワーク)
- ⇄ 拠点間ネットワーク

浜名湖

通学路の安全確保をした事例
(路肩の電柱を移転した後にグリーンベルトを設置)

※戦略目標年次(～H32)までの着手を目指すもの

【駅勢圏】

- 徒歩圏:650m
= 徒歩による駅までの平均所要時間9.6分
× 平均歩行速度4km/h(設定)より算定
- 自転車圏:2km
= 自転車による駅までの平均所要時間13.2分
× 平均走行速度9m/h(設定)より算定
(※第4回西遠都市圏パーセントリップ調査より)



B.国道1号(現道区間)の活用
浜名湖サイクリングロードの
活用に関する取組み



凡例(平成27年度 H28.2末実績)

- 要望・調整
- 着手(事業実施段階)
- 継続的取り組み
- 施策の取組みに着手した区間

生活拠点(新居町駅周辺)

No	種別 (注1)	基本目標との関係	戦観各における 取り組み項目・施策名	戦観各における 実施予定	平成25年度 実績		平成26年度 実績		平成27年度(中間点検)		平成28年度 予定		実施関係 機関	
					実績	点検 結果	実績	点検 結果	取組み予定	点検 結果	取組み予定	点検 結果		
1	A	II(利便性)	国道1号湖尻バイパスの整備促進	要望・調整・着手	事業化に向けた要望・調整	○	事業化に向けた要望・調整	○	事業化に向けた要望・調整	○	事業化に向けた要望・調整	○	国・県・市	
2		II(利便性)	国道301号歩道整備	事業実施	工事施工	◎	工事施工	◎	工事施工	◎	工事施工	◎	県	
3		II(利便性)	(都)浜名線	事業実施	工事施工	◎	工事施工	◎	工事施工(H27.9供用開始)	◎	信号機設置・交差点改良	◎	市	
4		II(利便性)	(都)松山弁天線	事業実施	新居弁天ICフルインター化(国)工事施工(市:IC取付道路)	◎	工事施工(市:IC取付道路)	◎	事業化に向けた調整	○	事業化に向けた調整	○	市	
5		II(利便性)	(都)松山茶屋松線	都市計画の変更	都市計画道路の見直し方針策定	◎	都市計画変更に向けた関係者協議・地元調整	○	総合計画(実施計画)に位置づけ	◎	都市計画の変更手続き	◎	県・市	
6		II(利便性)	都市計画道路の再検証	ガイドライン策定	都市計画道路の必要性再検証ガイドライン及び見直し方針策定	◎	都市計画変更に向けた関係者協議・地元調整	○	都市計画変更に向けた関係者協議・地元調整	○	再検証に基づく都市計画の変更手続き	◎	市	
7		II(利便性)	その他未整備都市計画道路	(長期)	-	-	-	-	-	-	-	-	市	
8		II(利便性)	その他市道整備(新居斎場進入道路など)、交通安全施設整備	継続実施	測量・予備設計(斎場進入路)	◎	詳細設計(斎場進入路)	◎	用地買収着手(斎場進入路) 耐震工事施工(洲崎橋)	◎	用地買収(斎場進入路)	◎	用地買収(斎場進入路)	◎
9	B	IV(環境)	浜名川緑道整備事業	(H26年度～)	(浜名川改修)	-	工事施工	◎	緑道工事施工(H27.7完成)	◎	-	-	市	
2		I(安全・安心)	【再掲】国道301号歩道整備	事業実施	工事施工	◎	工事施工	◎	工事施工	◎	工事施工	◎	県	
10		I(安全・安心)	その他歩行者・自転車空間整備、道路空間の再配分、ゾーン30の設定等	継続実施	(当地区では該当案件無し)	△	通学路合同点検の実施	◎	ゾーン30の設定 通学路合同点検結果に基づく改善 (路肩グリーンベルトなど)	◎	通学路合同点検結果に基づく改善	◎	道路管理者 警察	
11		III(活力)	歴史と自然をつなぐ歩行者ネットワークの形成(新居町駅周辺活性化協議会、新居宿街まち歩きマップなど)	継続実施	街歩きマップ作成	◎	街歩きマップ作成	◎	継続実施	◎	継続実施	◎	市民・市	
12		I(安全・安心)	国道1号(現道区間)の活用	(H26年度～)	-	-	取組み検討中	△	浜名湖サイクリングロードの活用に関する取組み	◎	継続実施	◎	国・県・市	
13		I(安全・安心)	基盤未整備区域の面整備準備(啓発及び啓蒙支援)	継続実施	市街地における面整備 実現に向けた啓発・誘導	◎	市街地における面整備 実現に向けた啓発・誘導	◎	市街地における面整備 実現に向けた啓発・誘導	◎	市街地における面整備 実現に向けた啓発・誘導	◎	市	
14		C	II(利便性)	鉄道とバスの接続ダイヤ見直しによる乗り継ぎ時間の短縮、連携強化	継続実施	コーちゃんバス(コミュニティバス)運行開始	◎	コーちゃんバス 経路及びダイヤ見直し	◎	コーちゃんバス 公共交通会議による検討	◎	コーちゃんバス 公共交通会議による検討	◎	市 交通事業者
15			II(利便性)	駅前広場の整備	(H31年度～)	-	-	-	-	-	-	-	市 交通事業者	
16	II(利便性)		駅・バス停など公共交通機関の高質化(マリアプリーヒ、案内板(多言語化)、防災施設等)	継続実施	待合ベンチ設置	◎	待合ベンチ設置	◎	継続実施	◎	継続実施	◎	市 交通事業者	
17	E	I(安全・安心)	歩きやすい歩道整備(段差解消等)	継続実施	国道301号(再掲) (都)浜名線(再掲) (都)松山弁天線(再掲)	◎	国道301号(再掲) (都)浜名線(再掲) (都)松山弁天線(再掲)	◎	国道301号(再掲) 定期的な道路・トロール及び 地元要望への対応による 歩行者環境の改善	◎	国道301号(再掲) 定期的な道路・トロール及び 地元要望への対応による 歩行者環境の改善	◎	道路管理者	
18		III(活力)	関所地区(新居町景観計画)	継続実施	3件(手続き件数)	◎	3件(手続き件数)	◎	3件(予定含む)	◎	継続実施	◎	市	
19		IV(環境)	風致地区の保全(啓発・指導)	継続実施	9件(手続き件数)	◎	6件(手続き件数)	◎	3件(予定含む)	◎	継続実施	◎	市	
20		I(安全・安心)	湖西市内山土地面整理事業	事業実施	事業実施	◎	事業完了(H26.12換地処分)	◎	清算事務完了	◎	-	-	市	
21		I(安全・安心)	開発指針(適正な土地利用誘導)	継続実施	窓口による開発指針	◎	窓口による開発指針	◎	窓口による開発指針	◎	窓口による開発指針	◎	市 民間事業者	
22		III(活力)	歩道修景(国道301号関所地区)	事業実施	工事施工	◎	工事施工・完了	◎	-	-	-	-	県・市	
23		III(活力)	電線共同溝(国道301号関所地区)	事業実施	工事施工	◎	工事施工・完了	◎	延伸事業化に向けた要望・調整	○	延伸事業化に向けた要望・調整	○	県・市	
24	III(活力)	新居駅前保存整備事業	事業実施	工事施工	◎	工事施工	◎	工事施工(場内芝張替え)	◎	計画(防災)・工事(裏街門)	◎	市		
25	III(活力)	観光レンタサイクル	継続実施	新居駅前瑪理翁場・海湖館で実施	◎	新居駅前瑪理翁場・海湖館で実施	◎	サイクリングロード等の整備(浜名湖観光圏)	◎	継続実施	◎	市		
26	III(活力)	まち歩き観光プログラム等	(H26年度～)	-	-	事業化に向けた要望・調整	○	まち歩きプログラム創成(市民団体)	◎	体験型観光イベントの実施	◎	市		
27	III(活力)	特別史跡新居町駅を中心とした地域・商業活性化の仕組みづくり	継続実施	商業イベント実施	◎	大御門復元完成記念 開門式	◎	関所きらり市などの開催	◎	継続実施	◎	市民・市		

(注1)「種別」 A: まちの骨格を形成する道路体系の確立 B: 徒歩圏内の移動手段の確保
C: 拠点駅における乗り継ぎ利便性・快適性の向上 D: 駅周辺のマリアプリーヒ
E: まちの景観資源の保全・活用

(注2)「赤字」の施策は、図中に表示あり。

凡例 (点検結果)	(着色)
◎: 概ね計画通り実施	要望・調整
○: 一部実施(要望・調整を含む)	着手(事業実施段階)
△: 取組み検討中、おしは未実施	継続的取組み
	【再掲】

道路ネットワーク【主な取組み実績(H28.2末現在)】

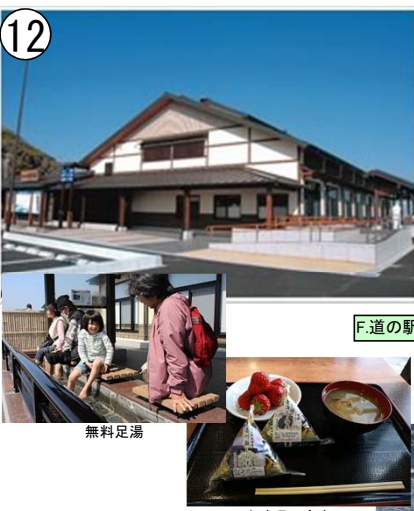
10



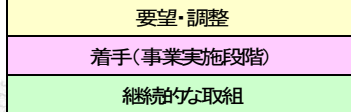
3



12



凡例(平成27年度 H28.2末実績)



湖西連峰



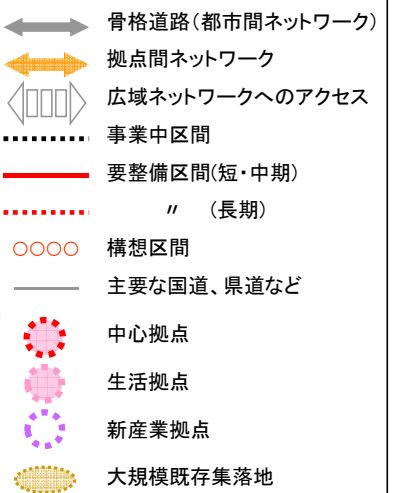
6

番号	129	事業名	都市計画道路松山茶屋松線整備事業	新規
科目	一般	種別	03 土木費	44 県道 45 市道 46 町道 47 村道
事業の目的	本路線は国道301号のバイパスの要求が高くなり、湖西市の商業を地味必要不可欠な道路であるが、現在の都市計画道路ネットワークは国道1号のバスインランドに支障が認められる観点から実現性が極めて高い。既にの都市計画マスタープランにバイパスの位置づけを決定し、整備を行う。			
事業の概要	国道1号～古賀新線(新居町駅西出入口付近) ・計画延長 L=2.2km ・道路幅員 W=16m			
年度別	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
事業内容	用地測量、地質調査	用地測量、都市計画決定変更	構設調査	
予算・計画額(千円)	予算額 36,545	計画額 30,000	計画額 30,000	

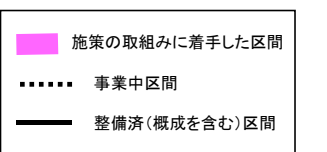
出典: 湖西市HP

《市全体について》

- 【ハード施策】
B.道路施設の長寿命化の推進
- 【ソフト施策】
A.都市計画道路の再検証
F.高齢者交通安全教室
F.交通安全教室の開催
F.交通安全キャンペーン(交通安全等推進事業)



※戦略目標年次(〜H32)までの着手を目指すもの



A.国道1号(現道区間)の活用 浜名湖サイクリングロードの活用に関する取組み

道路ネットワーク

No	種別 (注1)	基本目標との関係	戦略における 取り組み項目・施策名	戦略における 実施予定	平成25年度 実績		平成26年度 実績		平成27年度(中間点検)		平成28年度 予定		実施関係 機関
					実績	点検 結果	実績	点検 結果	取り組み予定	点検 結果	取り組み予定		
1	A	II(利便性)	都市計画道路の再検証	ガイドライン策定	都市計画道路の必要性再検証 ガイドライン及び見直し方針策定	◎	都市計画変更に向けた 関係者協議・地元調整	○	都市計画変更に向けた 関係者協議・地元調整	○	再検証に基づく 都市計画の変更手続き	市	
2		III(活力)	国道1号(現道区間)の活用	(H26年度～)	-	-	取り組み検討中	△	浜名湖サイクリングロードの 活用に関する取り組み	◎	継続実施	国・県・市	
3	B	III(活力)	国道1号朝見バイパスの整備促進	要望・調整・着手	事業化に向けた要望・調整	○	事業化に向けた要望・調整	○	事業化に向けた要望・調整	○	事業化に向けた要望・調整	国・県・市	
4		III(活力)	(都)長谷岡崎線	要望・調整・着手	事業化に向けた要望・調整	○	事業化に向けた要望・調整	○	事業化に向けた要望・調整	○	事業化に向けた要望・調整	県・市	
5		II(利便性)	(都)南宮降線	要望・調整・着手	事業化に向けた要望・調整	○	事業化に向けた要望・調整	○	事業化に向けた要望・調整	○	事業化に向けた要望・調整	県・市	
6		II(利便性)	(都)松山茶屋松線	都市計画の変更	都市計画道路の見直し方針策定	◎	都市計画変更に向けた 関係者協議・地元調整	○	総合計画(実施計画)に位置づナ	◎	都市計画の変更手続き	県・市	
7		II(利便性)	(都)松山弁天線	事業実施	新居弁天Cフルインター化(国 工事施工(市:IC取付道路)	◎	工事施工(市:IC取付道路)	◎	事業化に向けた調整	○	事業化に向けた調整	市	
1		III(活力)	【再掲】都市計画道路の再検証	ガイドライン策定	都市計画道路の必要性再検証 ガイドライン及び見直し方針策定	◎	都市計画変更に向けた 関係者協議・地元調整	○	都市計画変更に向けた 関係者協議・地元調整	○	再検証に基づく 都市計画の変更手続き	市	
8		III(活力)	国道301号の整備推進	事業実施	工事施工	◎	工事施工	◎	工事施工	◎	工事施工	県	
9	C	I (安全・安心)	道路施設の長寿命化の推進	計画策定	橋梁点検の実施	◎	事業化に向けた要望・調整	○	計画に基づいた修繕の実施	◎	計画に基づいた修繕の実施	市	
8		【再掲】国道301号の整備推進	事業実施	工事施工	◎	工事施工	◎	工事施工	◎	工事施工	県		
3		I (安全・安心)	【再掲】国道1号朝見バイパスの整備促進	要望・調整・着手	事業化に向けた要望・調整	○	事業化に向けた要望・調整	○	事業化に向けた要望・調整	○	事業化に向けた要望・調整	国・県・市	
8	D	I (安全・安心)	【再掲】国道301号の整備推進	事業実施	工事施工	◎	工事施工	◎	工事施工	◎	工事施工	県	
6		I (安全・安心)	【再掲】都松山茶屋松線	都市計画の変更	都市計画道路の見直し方針策定	◎	都市計画変更に向けた 関係者協議・地元調整	○	総合計画(実施計画)に位置づナ	◎	都市計画の変更手続き	県・市	
3		I (安全・安心)	【再掲】国道1号朝見バイパスの整備促進	要望・調整・着手	事業化に向けた要望・調整	○	事業化に向けた要望・調整	○	事業化に向けた要望・調整	○	事業化に向けた要望・調整	国・県・市	
10	E	III(活力)	【仮称】浜松三ヶ日・豊橋道路(IC誘致)の事業化	計画路線位置付 けの要望及びIC 設置に向けた可能 性の調整	事業化に向けた要望・調整	○	事業化に向けた要望・調整	○	事業化に向けた要望・調整 (新東名高速道路 豊田東JCT→浜松みなみJCT H28.2.13開通)	○	事業化に向けた要望・調整	国・県・市	
6		III(活力)	【再掲】都松山茶屋松線	都市計画の変更	都市計画道路の見直し方針策定	◎	都市計画変更に向けた 関係者協議・地元調整	○	総合計画(実施計画)に位置づナ	◎	都市計画の変更手続き	県・市	
11	F	III(活力)	新産業拠点における都市基盤整備手法の 導入検討(浜名湖西岸地区)	調整・着手	湖西市都市計画マスタープランに 位置づけ	◎	アンケート調査の実施	○	区画整理準備会設立(約50ha) 技術援助申請の受理	◎	区画整理調査実施	市	
12	F	III(活力)	道の駅情報発信(湖西イベント黒板など)	継続実施	情報コーナーによる地域情報の発信	◎	継続実施	◎	継続実施(「湖西観光資源みかき隊」 による観光資源の情報発信)	◎	継続実施	市	
13		I (安全・安心)	高齢者交通安全教室	継続実施	高齢者に対する研修を実施	◎	継続実施	◎	継続実施	◎	継続実施	警察・市	
14		I (安全・安心)	交通安全教室の開催	継続実施	入学入園児童生徒及び父兄を対象に 実施	◎	継続実施	◎	継続実施	◎	継続実施	学校・幼稚園 警察・市	
15		I (安全・安心)	交通安全キャンペーン(交通安全等推進事業)	継続実施	交通安全意識高揚のための 広報活動を実施	◎	継続実施	◎	継続実施	◎	継続実施	警察・市	

(注1)「種別」 A:幹線道路網(都市計画道路網)のネットワーク幅員の見直し
 B:湖西市の骨格を形成し、活力を支援する都市計画道路未整備区間等の整備
 C:緊急輸送路の整備 D:津波浸水区域内外を連絡する道路の整備
 E:構想路線等の計画促進 F:道路交通安全の啓もう活動

(注2)「朱書き」の施策は、図中に表示あり。

凡例
(点検結果)

◎	概ね計画通り実施
○	一部実施(要望・調整を含む)
△	取り組み検討中、または未実施

(着色)

黄色	要望・調整
ピンク	着手(事業実施段階)
緑	継続的な取組
紫	【再掲】

公共交通ネットワーク【主な取り組み実績(H28.2末現在)】

15 E.ラッピング車両の運行 (コーちゃんバス)

出典: 市民協働課資料

6 **13** バスを利用した買い物ツアー

13 【バスの日に]に合わせて啓発チラシ(右図)の配布

B.地域協働推進事業への取組み
E.モビリティマネジメントの推進

出典: 市民協働課資料

5 コーちゃんバスダイヤ改正!

総津循環線を新設!

出典: 市民協働課資料

19 E.バス停オーナー制度の実施 (協力企業の公開と募集)

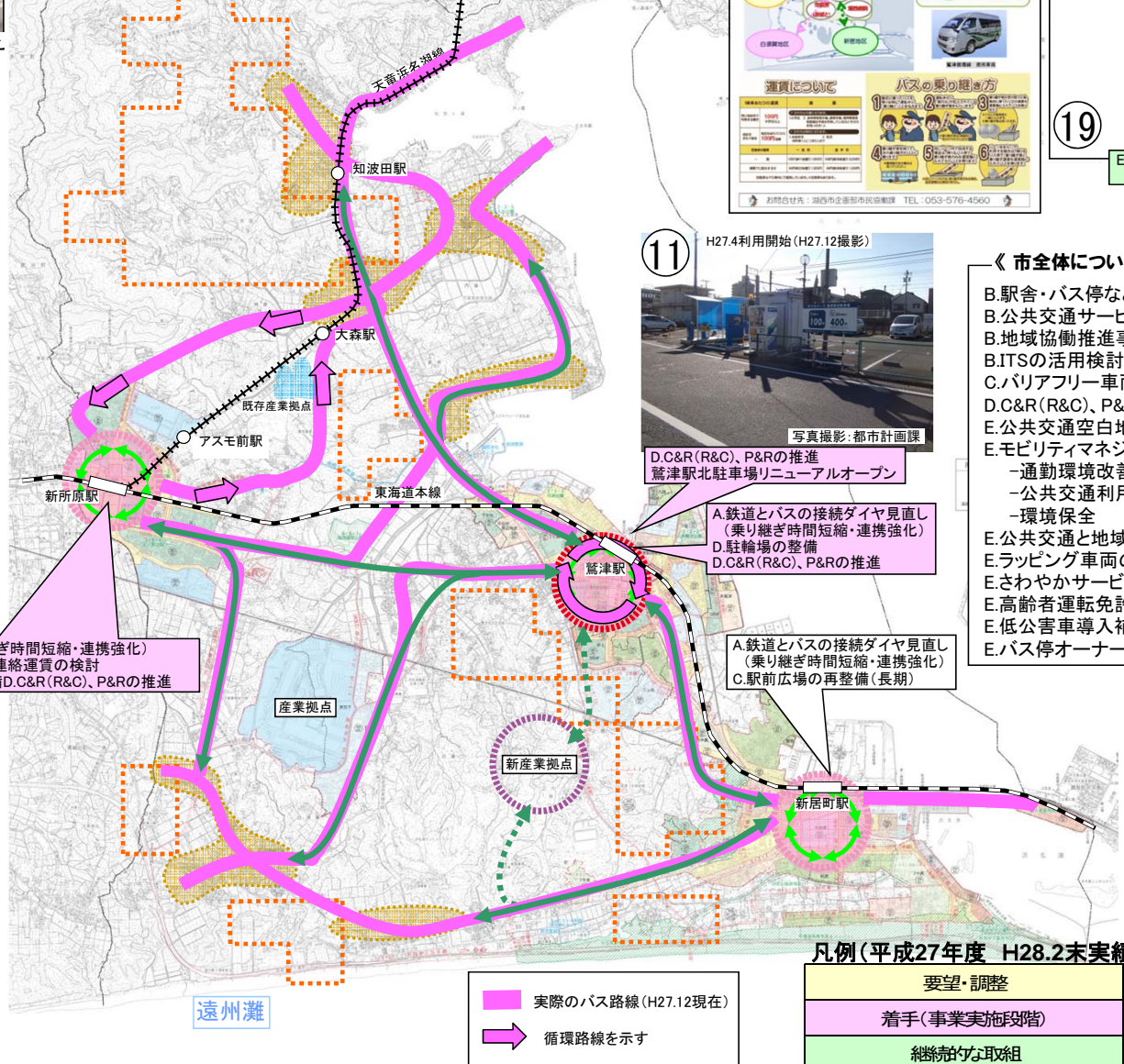
出典: 湖西市ウェブサイト

14 天竜浜名湖鉄道を利用したウォーキングチラシ

出典: 市民協働課資料

D 公共交通と地域住民を近づける仕組みづくり (マイルール意識の向上促進)

出典: 市民協働課資料



11 H27.4利用開始 (H27.12撮影)

D.C&R(R&C)、P&Rの推進
鷺津駅北駐車場リニューアルオープン

写真撮影: 都市計画課

- 《市全体について》
- B. 駅舎・バス停など移動空間の高質化
 - B. 公共交通サービスの維持
 - B. 地域協働推進事業への取組み
 - B. ITSの活用検討(新しい交通システムの検討)
 - C. バリアフリー車両の導入促進
 - D. C&R(R&C)、P&Rの推進
 - E. 公共交通空白地域における代替手段の検討
 - E. モビリティマネジメントの推進
 - 通勤環境改善・道路混雑緩和
 - 公共交通利用促進
 - 環境保全
 - E. 公共交通と地域住民を近づける仕組みづくり
 - E. ラッピング車両の運行検討
 - E. さわやかサービス(移送サービス)による地域福祉の推進
 - E. 高齢者運転免許返納支援(交通安全等推進事業)
 - E. 低公害車導入補助(環境にやさしいエネルギー普及事業)
 - E. バス停オーナー制度の実施

1 地域の実情に即した輸送サービスの実現

出典: 市民協働課資料 (湖西市地域公共交通会議による討議)

公共交通ネットワーク

No	種別 (注1)	基本目標 との関係	単独種ごとの 取組項目・施策名	単独種ごとの 実施予定	平成25年度 実績		平成26年度 実績		平成27年度(中間点検)		平成28年度 予定		実施関係 機関
					実績	点検 結果	実績	点検 結果	取組み予定	点検 結果	取組み予定		
1	A	II (利便性)	鉄道とバスの接続ダイヤ見直しによる 乗り継ぎ時間の短縮、連携強化	継続実施	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	市 交通事業者
2		II (利便性)	鉄道相互のサービス向上に向けた連携強化	継続実施	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	市 交通事業者
3		II (利便性)	鉄道とバスの連絡運賃の検討	(H26年度～)	-	-	-	△	△	△	△	△	市 交通事業者
4	B	I (安全・安心)	駅舎・バス停など移動空間の高質化	継続実施	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	市 交通事業者
5		I (安全・安心)	公共交通サービスの維持 (バス相互の連携強化など)	継続実施	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	市 交通事業者
6		II (利便性)	地域協働推進事業への取組み	計画策定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	市民・事業者 国・県・市
7		II (利便性)	ITSの活用検討(新しい交通システムの検討)	(H26年度～)	-	-	-	△	△	△	△	△	市
8	C	I (安全・安心)	バリアフリー車両の導入促進	継続実施	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	国・県・市 交通事業者
9		I (安全・安心)	南北自由通路及び橋上駅舎 (新所原駅周辺整備事業)	事業実施	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	市
10	D	II (利便性)	駅前広場・駐輪場の整備	事業実施	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	市 交通事業者
11		IV (環境)	C&R(R&C)、P&Rの推進	継続実施	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	市
12	E	I (安全・安心)	公共交通空白地域における代替手段の検討	継続実施	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	市民・事業者 交通事業者・市
13		IV (環境)	モビリティマネジメントの推進	継続実施	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	市民・事業者 交通事業者・市
14	D	III (活力)	公共交通と地域住民を近づける仕組みづくり (マイルール意識の向上促進)	継続実施	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	市 交通事業者
15	E	III (活力)	ラッピング車両の運行検討	(H26年度～)	-	-	◎	◎	◎	◎	◎	◎	市 交通事業者
16		I (安全・安心)	さわやかサービス(移送サービス)による 地域福祉の推進	継続実施	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	社会福祉協議会
17		I (安全・安心)	高齢者運転免許返納支援(交通安全等推進事業)	継続実施	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	市
18		IV (環境)	低公害車導入補助 (環境こやさしエネルギー普及事業)	継続実施	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	市
19		III (活力)	バス停オーナー制度の実施	継続実施	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	市民・市

(注1)「種別」 A: 鉄道・バスの連携強化 B: 快適に移動できる公共交通 C: 鉄道駅周辺のバリアフリー化
D: 公共交通機関と道路交通の連携強化 E: 市民協働による公共交通利用促進の意識高揚

(注2)「朱書き」の施策は、図中に表示あり。

凡例

(点検結果)

◎: 概ね計画通り実施
○: 一部実施(要望・調整を含む)
△: 取組み検討中、または未実施

(着色)

黄色	要望・調整
赤色	着手(事業実施段階)
緑色	継続的取組